

# 後期分授業料免除申請のしおり

在學生用

鳴門教育大学  
学生課学生生活支援係

## I. 対象者

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- (2) 納付期限前6か月間（H30.4.1～H30.9.30）において、学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡、又は、当該学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け授業料の納付が著しく困難であると認められる場合（退職金・保険金・損害賠償等の臨時所得がある者は、免除されない場合もあります。）
- (3) 前記（2）に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

### なお、次の者は選考の対象とはなりません。

- ① 現職教員
- ② 最短修業年限を超えた者又は申請の前年度に留年した者のうち、理由が病気・留学等の特別な事情によると認められない者（申請前に確認してください。）

## II. 評価基準

選考の基礎となる家計及び成績の評価基準は以下のとおりです。

### ○家計評価の基準

家計の評価は、世帯の1年間の総所得金額により行います。（住宅建設、その他の借財は考慮できません。）また、配偶者がいなく、父又は母がいる場合は、原則として独立生計者として認めることはできません。（私費外国人留学生を除く。）

経済的理由により授業料の納付が困難であることを認定するための家計評価基準については、所得の種類・特別控除額・世帯人数等により異なります。

### ○成績評価の基準

前年度までの4段階評価の成績換算値  
（今年度入学生については、出身高校または出身大学の成績）

## III. 申請手続

- (1) 申請方法 学生課学生生活支援係に本人が持参してください。
- (2) 提出期間 **平成30年7月20日（金）～平成30年9月14日（金）17:15**  
期限を過ぎての提出は受理できませんので注意してください。  
期限後に災害に遭われた場合や学資負担者が死亡された場合等、特別な事情がある場合は学生生活支援係へ相談してください。
- (3) 受付時間 平日 8:30～17:15
- (4) 結果通知 学生掲示板にて周知（11月下旬予定）し、学生生活支援係窓口にて通知書を交付します。
- (5) 注意事項 授業料免除申請者（又は授業料免除申請をしようとする者）は、**結果が判明するまでは授業料を納付しないでください。**  
納付してしまった場合には、授業料免除の資格を喪失しますので

注意してください。

※授業料免除申請者に対しては、授業料口座振替申込書を提出している場合でも、後期分授業料引落（10月）は行いません。

- (6) その他 申請書類に関して分からないことがあれば、学生課学生生活支援係（電話 088-687-6119）に問い合わせてください。

#### IV. 提出書類

##### 【必ず提出するもの】

- (1) 授業料免除申請提出書類チェック表
- (2) 授業料免除申請書
- (3) 家庭調書
- (4) 同一生計内の世帯全員分の住民票（H30.7.1以降発行のもの）  
※「世帯全員」と記載されたもの  
※マイナンバーの記載がないもの
- (5) 平成29年分の所得金額を証明する書類（所得証明書等）  
※収入の有無にかかわらず世帯全員分。（ただし、就学者は除く。）
- (6) 平成29年分課税証明書（住民税課税状況の記載があるもの）  
※収入の有無にかかわらず世帯全員分。（ただし、就学者は除く。）  
※「課税証明書」に H29 所得金額も記載されている場合は、「所得証明書」は不要です。
- (7) 授業料免除関係調査票
- (8) アルバイト等収入報告書
- (9) 封筒（長形3号、表面に自分の所属・学籍番号・氏名を記入したもの）
- (10) 出身大学又は出身高校の成績証明書（平成30年度入学者のみ）  
※ H30 入学科・前期授業料免除申請者、奨学金(定期採用)申請者及び外国人留学生は除く

##### 【該当する場合に提出するもの】（授業料免除申請提出書類チェック表参照）

- ・略歴（A4・任意様式）
- ・年収見込み証明書
- ・無職無収入の申告書
- ・雇用保険受給資格者証（写）等
- ・退職（予定）証明書
- ・退職金支給日・支給額（予定）証明書
- ・児童扶養手当支給額証明書
- ・証明書（授業料免除状況）
- ・アルバイト料支払（見込）証明書
- ・1か月当たりの生活費状況調べ
- ・在学証明書
- ・身体障がい者手帳等（写）
- ・預金通帳（写）等
- ・その他

#### V. 提出書類記入上の注意

##### 1. 授業料免除申請提出書類チェック表

- (1) 所属の専攻・コース、学年、氏名、電話番号（携帯）を記入してください。
- (2) 【全員が提出するもの】に必ずレ点を入れて確認してください。
- (3) 【該当者が提出するもの】に該当がある場合には、該当者（続柄）を記入してください。（重複する場合があります。）

2. 授業料免除申請書

- (1) 氏名欄は、必ず本人の自署としてください。
- (2) 「免除を受けたい理由」欄は、必ず本人が詳細に記入し、欄が不足するときは裏面又は別紙（様式自由）に記入して添付してください。
- (3) SE0奨学基金用資金による修学支援について、支援希望の有無をチェックしてください。

3. 家庭調書

必ず本人が記入してください。（家庭調書記入例 参照）

4. 同一生計内の世帯全員分の住民票（必ず「**世帯全員**」であることが記載されたもの、**マイナンバーの記載がないもの**）

同一生計内の世帯全員分の住民票を提出してください。本人及び就学者の内、世帯と住民票を別にしてしている者については住民票を提出しなくても構いません。

なお、「同一生計」とは、同居・別居を問わず申請者と生計を一にすることです。具体的には、父母等と同居する家族全員と、就学や病気療養等により別居している家族が該当します。（別居独立の兄弟姉妹は該当しません。）

5. 平成29年分の所得金額を証明する書類（＝最新の所得証明書等、以下参照）

収入の有無にかかわらず同一生計内の世帯全員（ただし、就学者については不要。独立生計者については本人分も必要。）について提出してください。

「同一生計」とは、同居・別居を問わず申請者と生計を一にすること（別居独立の兄弟姉妹は該当しません。）です。

【所得金額を証明する書類】

区 分	証 明 書 類 等	発 行 場 所
就学者以外の者	平成29年分所得証明書 ※同一生計内の世帯全員分	市区町村役場
平成29年に就職、もしくは平成30年に就職（予定を含む）した者	平成30年分の年収見込証明書 ※年収見込証明書の取得が困難な場合は、月収（見込）証明書又は最新3か月分の給与明細書のいずれかを提出してください。ただし、この場合は賞与があるものと仮定して計算しますので、賞与がない場合はその旨を書面で申し出てください。	勤務先 提出書類チェック表の別表参照
平成29年に退職、もしくは平成30年に退職（予定を含む）した者	源泉徴収票（給与分・退職金分）または退職（見込）証明書及び退職金支給日・支給額（見込）証明書（退職金が支払われない場合もその旨記載した証明書）	勤務先 提出書類チェック表の別表参照
年金・恩給等の受給者（予定を含む）	支給窓口発行の最新の年金交付（改定）通知書（ハガキ）の写し <u>遺族、母子、傷育、個人年金等も含まれます。</u>	日本年金機構 各関係機関
児童扶養手当を受給している者	児童扶養手当支給額証明書等（受給額のわかるもの）	市区町村役場、福祉事務所等
生活保護受給世帯	生活保護受給証明書等	市区町村役場、

	(受給金額がわかるもの)	福祉事務所等
専門実践教育訓練給付金を受給している者	受給金額が証明できる書類	ハローワーク
無職無収入の者	無職無収入の申立書	
失業者	雇用保険受給資格者証の写し等 (受給期間が満了している場合は無職無収入の申立書)	ハローワーク

6. 平成29年分課税証明書（住民税課税状況の記載があるもの）  
課税の有無にかかわらず同一生計内の世帯全員（ただし、就学者については不要。独立生計者については本人分も必要。）について提出してください。
7. 授業料免除関係調査票  
事実をありのままに記入し、申請者全員が提出してください。
8. アルバイト等収入報告書  
本人及び配偶者にアルバイト等の収入（見込）がある場合の報告書ですが、収入の有無に関係なく申請者全員が提出してください。
9. 長形3号封筒  
自分の所属・学籍番号・氏名を丁寧に記入してください。  
授業料免除選考結果を通知する際の封筒に使用します。
10. 証明書（授業料免除状況）  
この証明書は、就学者（兄弟姉妹）の授業料免除状況を証明するものです。  
「授業料免除関係調査票」の1で「いる」と記入した者のみ免除の有無にかかわらず証明書を提出してください。ただし、高校生以下（高等専門学校生については3年生以下）の就学者は不要です。
11. アルバイト料支払（見込）証明書  
「アルバイト等収入報告書」で「有」と記入した者のみ提出してください。本人又は配偶者にアルバイト等の収入がある人は、平成30年分(H30.1.1～H30.12.31)の収入（見込み）について証明してもらってください。ただし、平成29年(H29.1.1～H29.12.31)にアルバイトで得た金額と平成29年度(H29.4～H30.3)に受給した奨学金（返還の必要がないもの）の合計金額が100万円を超えていない場合は、必要ありません。
12. 1か月当たりの生活費状況調べ  
独立生計者と認められる者のうち、配偶者が無い者又は配偶者に十分な収入がないと思われる者は、**平成30年度の予定を記入**して提出してください。それ以外の者の提出は不要です。
13. 出身大学又は高校の成績証明書  
今年度、大学院に入学した人は出身大学の成績証明書、学部に入学者は出身高校の成績証明書を提出してください。  
ただし、私費外国人留学生、平成30年度入学料免除申請者、前期授業料免除申請者および平成30年度日本学生支援機構奨学金(定期採用)申請者については、提出不要です。
14. その他、家族及び本人が次の区分欄に**該当する場合は**、証明書類等欄にある書類

を提出してください。

区 分	証 明 書 類 等	発 行 場 所
平成30年4月現在で高校生以上の就学者がいる世帯	各学校指定の在学証明書（7月1日以降の発行日のもの） なお、「証明書（授業料免除状況）」の提出がある場合は不要。（ただし、引き続き、前年度と同じ学校に在籍している場合に限る。）	就学先 提出書類チェック表参照
身体障がい者等のいる世帯	身体障がい者手帳の写し等	都道府県，病院等
※長期療養者のいる世帯（申請日現在において6か月以上かかる期間療養中の者又は療養を必要と認められる者）	・医師の証明書（ <u>長期療養を要する旨が記載されたもの</u> ）又は6か月以上にわたる長期療養が証明できる書類（ <u>発行から1年以内のもの</u> ） ・経常的に支出する金額を証明できるもの（領収書等）	病院等
※風水害等の被害を受けた者	・罹災証明書及び罹災額証明書 ・損害保険等支払証明書	市区町村役場等 保険会社
※盗難等の被害を受けた者	被害届出証明書	警察署
主たる家計支持者が単身赴任で別居中の世帯	・単身赴任の証明書 ・住居費等の実費が確認できるもの	市区町村役場， 勤務先等
※学資負担者が6か月以内（H30.4.1～H30.9.30）に死亡した場合	・死亡確認ができる書類（戸籍抄本，死亡診断書等） ・生命保険金，退職金等の金額を確認できる書類	市区町村役場， 病院等 保険会社，勤務先等
家族構成に変更がある場合（世帯構成員が別居独立した場合など。）	該当者の住民票など，世帯から別居独立していることが証明できる書類	市区町村役場等
その他特別な事情について	免除選考を行うため，大学が必要と認める書類等	

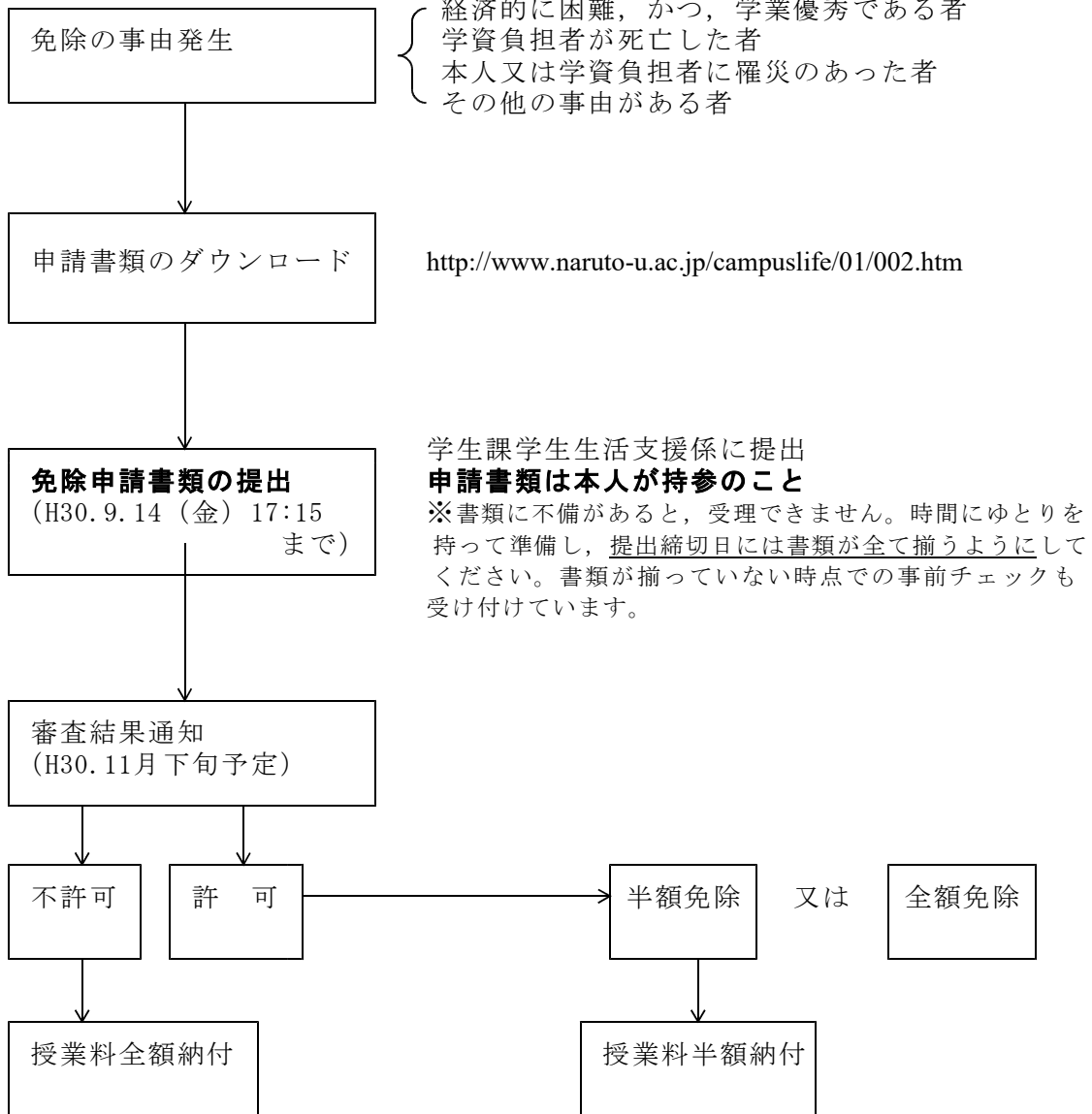
※については、保険・損害賠償等による補填分を差し引いてください。  
 なお、申請書類及び証明書類の記載に虚偽の事実が判明した場合は許可を取り消すことがあります。

(参考) 就学者及び未就学児に係る必要証明書類

	住民票	在学証明書	証明書 (授業料免除状況)
大学生 (国立)	△	×	○
大学生 (公立, 私立)	△	○	×
高専生 (4, 5 年生)	△	×	○
高専生 (1, 2, 3 年生)	△	○	×
専門学校生	△	○	×
高校生	△	○	×
中学生	○	×	×
小学生	○	×	×
未就学児	○	×	×

○ : 必ず提出      △ : なくてもよい      × : 不要

## 授業料免除（後期分）のフローチャート



※免除申請の結果が不許可又は半額免除になった者は，通知後速やかに授業料を納付してください。

提出書類により取得した個人情報は，授業料免除者選考の事務手続きのために利用し，その他の目的には利用されません。

# 授業料免除申請提出書類チェック表

(在学学生用)

( 学部・大学院 )      ( G・M・L・P )      年      学籍番号

所属の専攻(専修)・コース      氏名      電話番号(携帯)

## 【全員が提出するもの】

- 授業料免除申請提出書類チェック表(在学学生用)
- 授業料免除申請書
- 家庭調書
- 同一生計内の世帯全員分の住民票(下表参照) ※世帯全員分と記載されているH30.7.1以降に発行のもの(マイナンバーなし)
- 平成29年分の所得証明書等(下表参照) ※収入の有無にかかわらず世帯全員分。ただし就学者は除く。
- 平成29年分の課税証明書(下表参照) ※収入の有無にかかわらず世帯全員分。ただし就学者は除く。
- 授業料免除関係調査票
- アルバイト等収入報告書
- 長形3号封筒 ※表面に自分の所属・学籍番号・氏名を記入したもの
- 出身大学又は出身高校の成績証明書(平成30年度入学者) ※H30入学料免除・前期授業料免除申請者及び奨学金(定期採用)申請者は除く

## 【該当者が提出するもの】 (就学者以外)

○:必ず提出    △:状況に応じ提出    ×:提出不要    ※:しおりP3~5参照

職業等	該当者(続柄)	住民票	所得証明書 (最新のもの)	課税証明書 (最新のもの)	年金通知書	無職無収入 の申告書	雇用保険受 給資格者証 (写)	その他
給与所得者		○	○	○	×	×	×	△
平成29年、平成30年に就 職した人(予定含む)		詳細は別表のとおり						
平成29年、平成30年に退 職した人(予定含む)								
自営、農業、その他		○	○	○	×	×	×	△
年金、恩給等受給者		○	○	○	△	×	×	※
専業主婦		○	○	○	×	○	×	△
失業者		○	○	○	×	○	△	△
未就学児		○	×	×	×	×	×	△
その他		○	○	○	×	○	×	△

## (就学者)

職業等	該当者(続柄)	住民票	所得証明書 (最新のもの)	課税証明書 (最新のもの)	証明書 (授業料免 除状況)	在学証明書	アルバイト料 支払(見込) 証明書	その他
<b>本人</b>	本人	△	△	△	×	×	△	△
大学生(国立)		△	×	×	○	×	×	△
大学生(公立)		△	×	×	×	○	×	△
大学生(私立)		△	×	×	×	○	×	△
高専生(4.5年生)		△	×	×	○	×	×	△
高専生(1.2.3年生)		△	×	×	×	○	×	△
専門学校生		△	×	×	×	○	×	△
高校生		△	×	×	×	○	×	△
中学生		○	×	×	×	×	×	△
小学生		○	×	×	×	×	×	△

## (その他)

職業等	該当者(続柄)	提出書類	備考
身体障害者等		身体障害者手帳等(写)	詳細は担当窓口で確認してください。
長期療養者		医師の証明書(発行から1年以内のもの)等	
風水害、盗難等の被害を受けた者		罹災証明書及び罹災額調査書等	
生活保護受給世帯		生活保護受給証明書等	
専門実践教育訓練給付金受給者		受給額が証明できる書類	
単身赴任で別居中の世帯		単身赴任の証明書, 住居費等の実費を確認できる書類等	
学資負担者が死亡した者 (H30.4.1~H30.9.30)		戸籍抄本, 死亡診断書等	
独立生計者		所得証明書, 預金通帳(写), 1ヶ月当たりの生活状況調べ等	
その他		事情により大学が必要と認める書類等	



(別表)

## 【平成29年，平成30年に就職又は退職した人(予定含む)】

職業等	該当者(続柄)	住民票	略歴 (H29.1～)	所得証明書 (最新のもの)	課税証明書 (最新のもの)	H30.3まで在学していることを証明できるもの	年収見込証明書	源泉徴収票	無職無収入の申告書	雇用保険受給証明書(写)	退職(予定)証明書	退職金支給日・支給額(予定)証明書	その他
H30.4から就職 (H30.3まで学生の場合)		○ 世帯全員分と記載されているH30.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズ用紙にメモ書きしたもので可。	○ H30.3まで在学していることを証明できるものの提出により省略できる。	○ H30.3まで在学していることを証明できるものの提出により省略できる。	○ 在学証明書・学生証(写)など。所得証明書を提出する場合は不要。	○ H30.4～H31.3分。取得が困難な場合は最新3ヶ月分の給与明細書(写)等	×	×	×	×	×	△ 大学が必要と認める書類。(事情によって提出を求める場合があります。)
H29.1以降に就職		○ 世帯全員分と記載されているH30.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズ用紙にメモ書きしたもので可。	○	○	×	○ H30.1～H30.12分。取得が困難な場合は最新3ヶ月分の給与明細書(写)等	○ 平成29年分 ただし、H30.1以降に就職した場合は不要	×	×	×	×	△ 大学が必要と認める書類。(事情によって提出を求める場合があります。)
H29.1～29.12に退職		○ 世帯全員分と記載されているH30.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズ用紙にメモ書きしたもので可。	○	○	×	×	○ 平成29年分 退職金の源泉徴収票	○ 再就職した場合は不要。	○ 定年退職の場合は不要。	△ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	△ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	△ 大学が必要と認める書類。(事情によって提出を求める場合があります。)
H30.1～H30.9の間に退職		○ 世帯全員分と記載されているH30.7.1以降に発行されたもの。マイナンバーなし。	○ A4サイズ用紙にメモ書きしたもので可。	○	○	×	×	○ 平成30年分 退職金の源泉徴収票	○ 再就職した場合は不要。	○ 定年退職の場合は不要。	△ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	△ 退職金の源泉徴収票を提出する場合は不要。	△ 大学が必要と認める書類。(事情によって提出を求める場合があります。)

# 授業料免除申請書

平成 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

所 属  
学籍番号  
氏 名

下記により授業料免除を受けたいので、許可くださるよう関係書類を添え、申請します。

## 記

- 1 平成30年度 後期分
- 2 免除を受けたい理由（詳細に）

※ 授業料免除の判定結果が「半額免除」であった場合、鳴門教育大学基金におけるSEO奨学基金用資金による修学支援を

- 希望する。  
 希望しない。

（注1）上の□いずれかにチェックを付すこと。

（注2）「鳴門教育大学基金におけるSEO奨学基金用資金による修学支援」とは、授業料免除の判定結果が半額免除であった者のうち、特に支援が必要と判定した者に対して、一定額を鳴門教育大学基金から支給する制度です。被判定者は、支援金を返還する必要はありません。（寄附者へお礼状を書いております。）

（注3）氏名は、必ず本人が自署すること。

備考 規格は、A4とする。

# 家庭調書

				学籍番号						
フガナ				所属		学校教育研究科 第 年次				
氏名				所属		学校教育学部 第 年次				
本人住所		〒 ( ) 番 ( )		家族住所		〒 ( ) 番 ( )				
家族及び所得(主たる家計支持者に○印・別居者に×印)	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間	勤務先	給与所得の収入金額(税込)	所得金額(税込)	
		父				年		千円	千円	
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月)									
		母				年		千円	千円	
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月)									
						年		千円	千円	
						年		千円	千円	
						年		千円	千円	
						年		千円	千円	
	所得金額(就学者を除く家族)合計								①	千円
就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年	通学別	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(H29年額)		
	本人			国立鳴門教育大学			※自宅・自宅外	奨学金 千円		
				立			※自宅・自宅外			
				立			※自宅・自宅外	アルバイト 千円		
				立			※自宅・自宅外			
本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(合計)								②	千円	
身体障害者	本人との続柄	障害の種類別		手帳番号		長期療養者	本人との続柄	病気の状況		
収入状況	給与所得	商・工・林・水産業所得		農業所得(1反=10a=1,000㎡)		その他の職業・雑所得		左記以外の臨時所得		
	(収入金額を記入)	営業種目 ( )		農作物 米・麦・雑穀 作付延面積 a		職種 ( )		退職金 千円		
	給与・賃金(賞与を含む) 千円	営業形態		野菜・果実・園芸等 a		家賃・地代		退職一時金 千円		
	役員報酬(賞与を含む) 千円	※ 1 個人経営 2 同族会社 3 その他 ( )		その他 ( )		千円		保険金 千円		
	専従者給与 千円	設備		従事者 家族 人		千円		資産譲渡 千円		
	年金・恩給 千円	機械 車両 台		使用人 人		千円		山林所得 千円		
	扶助料 千円	その他 ( )		米・麦・雑穀 ㎡		その他 ( )		その他 ( ) 千円		
	その他 ( ) 千円	従事者 家族 人		野菜・果実・園芸等 ㎡		千円		千円		
		使用人 人		その他 ( )		千円		千円		
		売上高計 千円		収入金額計 千円		収入金額計 千円		収入金額計 千円		
	収入金額計(税込) 千円		必要経費 千円		必要経費 千円		必要経費 千円			
	所得金額(税込) 千円		差引所得金額(利益金額)(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円		差引所得金額(税込) 千円			
所得金額(①) + 本人収入(②) の合計								③	千円	

(注) 1 ※印のところは○印で囲むこと。  
 2 記入にあたっては、必ず「申請のしおり」を参照すること。  
 3 千円未満の端数は切り捨てること。

# 家 庭 調 書

(平成30年10月1日現在)

					学籍番号	<b>13720001</b>						
フリガナ	<b>カト トヨコ</b>				所属	学校教育研究科	(大学院生はこの欄にコース名を記入) 第 年次					
氏名	<b>鳴門 教子</b>					学校教育学部	(学部生はこの欄にコース名を記入) 第 1 年次					
本人現住所	〒 ( <b>772-0051</b> )  ☎ ( <b>090-1234-5678</b> ) <b>鳴門市鳴門町高島字中島99-7</b> 学生宿舎7-201				家族住所	〒 ( <b>770-8501</b> )  ☎ ( <b>088-626-XXXX</b> ) <b>徳島市新鷹町2-24</b>						
家族及び所得(主たる家計支持者に○印・別居者に×印)	就学者を 除く 家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間	勤務先	給与所得の収入金額(税込)	所得金額(税込)			
		父	<b>鳴門 学</b>	<b>51</b>	<b>農業</b>	<b>33</b> 年	<b>自宅</b>		千円	<b>1,561</b> 千円		
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月 )											
	母	<b>鳴門 育美</b>	<b>47</b>	<b>農業</b>	<b>22</b> 年	<b>自宅</b>			<b>1,200</b>			
	※ 死亡・生別・無職等の場合 その年月 ( 年 月 )											
	祖父	<b>鳴門 大吉</b>	<b>80</b>	<b>無職</b>	年	<b>年金受給者</b>			<b>1,269</b>			
	兄	<b>鳴門 勝夫</b>	<b>25</b>	<b>会社員</b>	<b>2</b> 年	<b>徳島建設㈱</b>			<b>3,043</b>			
	姉	<b>鳴門 文</b>	<b>24</b>	<b>家事手伝い</b>	年							
	所得金額(就学者を除く家族)合計									<b>① 記入しない</b> 千円		
	就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年	通学別	本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(年額)			
本人		<b>鳴門 教子</b>	<b>22</b>	<b>国立鳴門教育大学大学院</b>		<b>1</b>	※自宅・ <b>自宅外</b>	奨学金 <b>360</b> 千円				
兄		<b>鳴門 勉</b>	<b>20</b>	<b>国立徳島大学</b>		<b>3</b>	※ <b>自宅</b> ・自宅外					
妹		<b>鳴門 潮美</b>	<b>17</b>	<b>県立徳島高等学校</b>		<b>3</b>	※ <b>自宅</b> ・自宅外	アルバイト <b>57</b> 千円				
立							※自宅・自宅外					
本人の奨学金及びアルバイト等の収入金額(合計)									<b>② 446</b> 千円			
身体障害者	本人との続柄	障害の種類別		手帳番号		長期療養者	本人との続柄	病気の状況				
	<b>姉</b>	<b>〇〇〇〇 3級</b>		<b>12345</b>			<b>祖父</b>	<b>〇〇〇〇〇</b>				
収入状況	給与所得	商・工・林・水産業所得		農業所得(1反=10a=1,000㎡)		その他の職業・雑所得		左記以外の臨時所得				
	(収入金額を記入)	営業種目		農作物		職種		退職金				
	給与・賃金(賞与を含む)千円	( )		米・麦・雑穀		( )		千円				
	役員報酬(賞与を含む)千円	営業形態		野菜・果実・園芸等		家賃・地代		千円				
	専従者給与千円	※ 1 個人経営		( )		千円		千円				
	年金・恩給千円	2 同族会社		従事者		千円		千円				
	扶助料千円	3 その他( )		家族使用人		千円		千円				
	その他( )千円	設備		米・麦・雑穀		千円		千円				
	収入金額計(税込)千円	機械両台		野菜・果実・園芸等		千円		千円				
	所得金額(税込)千円	その他( )		その他( )		千円		千円				
売上高計									収入金額計		収入金額計	
必要経費									千円		千円	
差引所得金額(利益金額)(税込)千円									千円		千円	
必要経費									千円		千円	
差引所得金額(税込)千円									千円		千円	
必要経費									千円		千円	
差引所得金額(税込)千円									千円		千円	
所得金額(①) + 本人収入(②)の合計									<b>③ 記入しない</b> 千円			

(注) 1 ※印のところは○印で囲むこと。  
 2 記入にあたっては、必ず「申請のしおり」を参照すること。  
 3 千円未満の端数は切り捨てること。

# 授業料免除関係調査票

(H30 授業料)

申請者氏名 \_\_\_\_\_

## 1. 授業料免除状況

就学者（兄弟姉妹）のうち、国立（公立，私立は関係ありません。）の高専以上の学校（高専（4年，5年），大学，大学院等）に行っている者が（ いる ・ いない ）

※いずれかに○印をつける

い る . . . 下欄に記入してください

い ない . . . 下欄への記入は不要

氏 名	学校（学部）等名	入学年度	平成27年度免除状況	
			前 期	後 期
		年	全・半・不・無	全・半・不・無
		年	全・半・不・無	全・半・不・無
		年	全・半・不・無	全・半・不・無
		年	全・半・不・無	全・半・不・無

(注) 全：全額免除，半：半額免除，不：不許可，無：申請なし又は該当なし

## 2. 奨学金関係

申請者本人が平成29年度（H29. 4. 1～H30. 3. 31）に奨学金を受給して（ いた ・ いない ）

※いずれかに○印をつける

い た . . . 下欄に記入してください

い ない . . . 下欄への記入は不要

奨学金の名称	受給期間	月 額	年 額	貸与・給与	平成 30 年度 継続の有無
	～	円	円	貸与・給与	有・無
	～	円	円	貸与・給与	有・無
	～	円	円	貸与・給与	有・無

(注) 貸与：返還が必要な奨学金（例：日本学生支援機構奨学金），給与：返還の必要がない奨学金

日本学生支援機構奨学金は貸与（返還の必要がある奨学金）であるため，本人の収入として算定しませんので，「家庭調書」の奨学金（年額）欄に記入する必要はありません。

# アルバイト等収入報告書

(H30 授業料)

本人または配偶者の収入について

1. 前年 (H29. 1. 1~H29. 12. 31) に収入がありましたか。 (はい・いいえ)
2. 当年 (H30. 1. 1~H30. 12. 31) に収入がある予定ですか。 (はい・いいえ)

全ての質問に「いいえ」と答えた人は、記入終了です。

質問の答えに1つでも「はい」と答えた人は、下欄に必要事項を記入し、アルバイト先ごとに別紙「アルバイト料支払(見込)証明書」を添付してください。

アルバイト先名	職 種	期 間	収入金額 (年額・税込)		備 考
			平成29年分 (1月~12月)	平成30年分 (1月~12月)	
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者
					本 人 配偶者

- 注) 1. 平成29年分の収入金額は、1月から12月までの間に実際に得た金額を記入してください。  
2. 平成30年分の収入金額は、1月から7月までの間に実際に得た金額と、8月から12月(見込額)に分けて記入してください。

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

申請者 (学部・大学院) 第 年次

氏名 (自署)

# アルバイト等収入報告書

本人または配偶者の収入について

1. 前年（H29. 1. 1～H29. 12. 31）に収入がありましたか。  はい・いいえ

2. 当年（H30. 1. 1～H30. 12. 31）に収入がある予定ですか。  はい・いいえ

全ての質問に「いいえ」と答えた人は、記入終了です。

質問の答えに1つでも「はい」と答えた人は、下欄に必要事項を記入し、アルバイト先ごとに別紙「アルバイト料支払（見込）証明書」を添付してください。

アルバイト先名	職 種	期 間	収入金額（年額・税込）		備 考
			平成29年分 （1月～12月）	平成30年分 （1月～12月）	
〇〇宅	家庭教師	H29. 10～H29. 12	20,000円		本人 配偶者
〇〇スーパー	レジ	H29. 5～H30. 2	57,000円	21,000円	本人 配偶者
〇〇スーパー	レジ	H30. 3～H30. 7 注)2を参照		46,000円	本人 配偶者
〇〇スーパー	レジ	H30. 8～H30. 12 注)2を参照		32,000円 （見込額）	本人 配偶者
					本人 配偶者

注) 1. 平成29年分の収入金額は、1月から12月までの間に実際に得た金額を記入してください。

2. 平成30年分の収入金額は、1月から7月までの間に実際に得た金額と、8月から12月（見込額）に分けて記入してください。

上記のとおり相違ありません。

平成30年9月1日

申請者 ( 学部 ・  大学院 ) 第 1 年次

氏名（自署） 鳴 門 教 子

# 無職無収入の申立書

平成 年 月 日

鳴門教育大学長 殿

免除申請者氏名

申立者氏名

(申請者との続柄)

( )

平成 30 年度後期授業料免除の申請にあたり、申立者は下記のとおり無職無収入であることに相違ありません。

記

無職である事情や現在の状況（具体的に記入すること）

(注)申立者が自署すること



# 1 か月当たりの生活費状況調べ

(H30 授業料)

収 入		支 出	
1 父母等からの給付額	円	1 食費	円
		2 住居費	円
2 アルバイト等	円	3 光熱水費	円
		4 通学交通費	円
3 奨学金等	円	5 教育費	円
		6 小遣い	円
4 その他 ( )	円	7 その他 ( )	円
合 計	円	合 計	円

備 考 (生活費が不足する場合の補充方法等)

# アルバイト料支払（見込）証明書

鳴門教育大学 （学部・大学院） 年次

申請者氏名

このたび、免除等の申請（入学料免除・徴収猶予、授業料免除、日本学生支援機構奨学金）をいたしますので、私のアルバイト料の証明を下記によりお願いします。

## 記

学 生 氏 名	
仕 事 内 容	
雇 用 期 間	平成 年 月から平成 年 月（予定）まで
平成29年中の （1月～12月） 支払金額	円（ 月から 月まで 月分）
平成30年中の （1月～12月） 支払（見込）金額	円（ 月から 月（予定）まで 月分）

上記のとおり証明します。

平成 年 月 日

雇用者住所

雇用者氏名

印

電話番号（ ）

# アルバイト料支払（見込）証明書

鳴門教育大学（学部・**大学院**） 1 年次

申請者氏名 **鳴門教子**

このたび、免除等の申請（入学料免除・徴収猶予、**授業料免除**、日本学生支援機構奨学金）をいたしますので、私のアルバイト料の証明を下記によりお願いします。

## 記

学生氏名	<b>鳴門教子</b>
仕事内容	<b>コンビニエンスストア レジ</b>
雇用期間	<b>平成28年4月から平成30年2月（予定）まで</b>
平成29年中の （1月～12月） 支払金額	<b>107,000円（1月から12月まで12ヶ月分）</b>
平成30年中の （1月～12月） 支払（見込）金額	<b>30,000円（1月から2月（予定）まで2ヶ月分）</b>

上記のとおり証明します。

平成30年9月1日

雇用者住所 **鳴門市鳴門町高島字北346**

雇用者氏名 **高島敏夫**

印

電話番号 **(088) 633 - ××××**

# 証明書（授業料免除状況）

国立 ※大学 ※学部  
大学院 研究科 年

国立 高等専門学校 年

氏名（自署）

このたび、鳴門教育大学に在学中の私の ※ 兄・弟・姉・妹（氏名 ） が、  
 ※ 入学料免除・徴収猶予，授業料免除の申請をいたしますので，授業料免除状況等を下記  
 により証明願います。

## 記

入学年度	平成 年度入学					
通学状況	※ 自宅・自宅外 通学					
平成29 年度免 除状況	前期分	全額免除	半額免除	不許可	申請なし	平成30年度入学のため、該当しない
		円	円			
	後期分	全額免除	半額免除	不許可	申請なし	平成30年度入学のため、該当しない
		円	円			

（注）※には、○印を記入してください。

上記のとおり証明します。

平成 年 月 日

大学 学部

高等専門学校

係氏名 （印）

# 年間収入(見込)証明書

住 所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

雇用年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

証 明 額 \_\_\_\_\_ 円

## 給与支払状況

対象月	支払(予定)額	対象月	支払(予定)額
平成30年1月	円	平成30年10月	円
平成30年2月	円	平成30年11月	円
平成30年3月	円	平成30年12月	円
平成30年4月	円	平成31年1月	円
平成30年5月	円	平成31年2月	円
平成30年6月	円	平成31年3月	円
平成30年7月	円	夏期賞与	円
平成30年8月	円	冬期賞与	円
平成30年9月	円		
合 計			円

年間収入(見込)額について上記のとおり証明します。

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

所 在 地

事業所名

代表者名